



かえでゆうびん 7月号

2022年7月1日
社会福祉法人 清松学園
幼保連携型認定こども園 かえで保育園
園長 引地 美津代

6月の半ばに梅雨入りしたかと思うと突然の梅雨明け宣言。今年の雨の日は傘をさして探索したり、雨のエピソードを子どもたちと楽しめると思っていたのですが、こんなに早く「本格的な夏」になってしまい、水不足・電力不足を心配することになってしまいました。食物は梅雨時期の降る雨をしっかりと蓄え、夏に備えていきますが、庭の木々もあまりの暑さに悲鳴を上げているようです。先日、本当に久しぶりの観光に、京都の三室戸寺のアジサイを見に出かけました。お寺の境内に色とりどりのアジサイを・・・が強い日差しにほとんどのアジサイが枯れてしまい悲しい状態でした。

コロナという感染症に世界中が震撼し、次いで国同士の争いに尊い命が奪われ、世界中がありえない状況にある中、人類が生きていくうえで必要なエネルギー不足も・・・この先どう進んでいくのか大変危惧されます。

6月に食品等が大幅に値上げされ、保育園の台所も大変苦しくなってきました。油・小麦だけではなく日用品も気づけばほとんどが値上げされています。保育園の運営ももう少し頑張ってみますが、幼児クラスの給食費も値上げのお知らせをすることになるかもしれません。その際はご了承ください。

さて、うれしい情報です。先日行った同園会では6年生までの子どもたちがたくさん帰ってきてくれました。3部に分かれての開催でしたが、久しぶりの再会に照れ臭そうに足早に園に入ってくる子どもや、「来ましたよ〜」とアピールしながら門をくぐる子どもたちに出会い、柔らかい時間が流れました。1部の時間が短いこともあり、何をしようか・・・と先生たちは試行錯誤しましたが泥ダンゴ・貝殻絵馬・園庭整備をして楽しんでもらう企画になりました。どの子どもも一度園に入ると自分たちが長くいた居場所ですので保育園時代の気持ちが蘇り、満面の笑みを浮かべながら嬉しそうに土と戯れている子どもたちでした。大きくなった・・・と思う気持ちはもちろんですがこの場所に戻ってこようと思ってくれている気持ちがうれしくてもっと時間があれば、こんなこともあんなこともしてあげたかった・・・と思いました。子どもたちにとっても私たち職員にとってもほっとできるひと時の時間でした。卒園のお父さんのお手伝いもありうれしい時間でした。

中学生になっても高校生になっても来たい・・・と言ってくれる子どもたちに「またそうできるよう考えるね〜」と言いながら見送りました。

私の保育園への思いは、保育園は預かる・預けられるの関係ではなく、この場所が子どもにとって「居心地の良い場所」・保護者や地域の方にとって「安心できる場所」と思える居場所づくりとして保育を続けてきています。コロナ禍で人との距離を置いたり、会話を楽しみながらの食事制限され、人とのかわりが箕臼になってきていますが、かえで保育園にご縁のあった方々はそんな中でも、相手のことを思い、皆で楽しむ精神を大切に「人らしい生活」を進めていただけるよう提案していきたいと思います。また、ご意見くださいね。

そして本格的な夏・・・今年は「子どもだけの盆踊り」「そうめんがし」そしてだいちのみ「プール遊び」も復活していきます。体調管理・衛生管理を万全にできることを模索しながら経験・体験を増やしていきます。

お便りやよいこネットでのお知らせをよく確認してください。

かえでカフェ 16:30~17:45

7月からシリーズで「楽しいごはんづくり」を紹介します

9・11・12月に予定しています。どうぞ楽しい時間を過ごしてください

ダンディ・タイム

9月17日(土) 17:00~

内容はアンケートを取ります。

毎年咲き乱れるほど花をつけてくれていた「あじさい」ですが、今年は少しお休みの年のようで花の数が一度に減ってしまいました。昨年、大きくなりすぎた紫陽花を剪定するとき、切る位置を考えずに切ってしまったことが原因でしょうか…来年園庭を彩り、豊かに咲いてくれる日を楽しみにお世話していきます。また、真夏を感じるような日差しに子どもたちはどんな「夏の遊び」を展開しようかと、ウキウキしています。子どもが十分に水遊びを満喫できるよう適度な雨が降ってほしいです。

今年度、コロナ禍の中少しお休みをしていた「かえでカフェ」を再開するにあたり、園長から簡単に作れる美味しいごはん作る紹介をしてみたら？と提案がありました。

私は料理をすることが大好きで、食べてくれる人が「おいしい」と喜んでくれる顔を見ると次は何を作ろうかとワクワクしてしまいます。今年のかえでカフェでは「手作りごはん」を中心にシリーズで紹介していきます。

(7・9・11・12月予定)

仕事をこなしながらの子育てで悩むのは「今日のごはん何にしようか…」ですよね。

私の子育て中の頃は出汁作りや肉や魚の下味を留守時や寝ている時間に冷蔵庫で行ないできるだけ時短でできる食事作りをしてきました。

コロナ禍ですので保護者のみなさまと「おしゃべり」しながら楽しく食べるとはいきませんが「簡単に作れるごはん」の作り方やワンポイントアドバイスをお伝えできたらと考えています。「予約制」ですのでご都合のつく方はぜひご参加いただければと思っています。お待ちしております。

主幹保育教諭 藤森 寿美

せみの鳴き声が聞こえるのを心待ちにしている子どもたちもいる中、あっという間に梅雨が過ぎ、いよいよ夏本番といった気候がやってきましたね。

ここ数年は、感染症対策のため様々な制限や工夫をしながら過ごしてきました。コロナ禍以前の生活がもう懐かしく感じるほどです。

かえで保育園では、子どもたちにとって大切な経験を出来る限り取り戻していこうと、少しずつ取り組んでいるところです。

誕生会では、だいち組が日頃楽しんでいる歌を披露し、聴いてもらう経験を再び始めました。

以前は毎月のように前へ出て、歌うことが楽しみで仕方ない様子のだいち組でしたが、久しぶりに皆の前でうたう6月の誕生会は、どきどきそわそわしている様子でした。

「だいちさん、きれいな声だったね」「聴かせてくれてありがとう」皆から声をかけてもらうことが、嬉しいようなちょっぴり照れくさいような。歌をうたう喜びや、友だちと音楽を奏でる楽しさ、のびのびと表現することへの自信に繋がってくれることと思います。

保護者の方々にも入館いただけるようになり、園での子どもたちの様子や夢中になっていることなど、様々な形でお伝え出来ればと考えています。

一進一退の状況、まだまだ感染症対策は続けていきますが、子どもたちの過ごす一日一日が豊かなものとなるようにと願いながら日々の保育を想っています。

主幹保育教諭 河本彩奈

～めばえぐみ～

ねらい：水の感触や冷たさを味わう

うた：「うみ」「きらきら星」「しゃぼんだま」

わらべうた：「ボウズ」「チュッチュココ」「アンコジョージョー」

暑さも日々増していき、本格的な夏もすぐそこまで来ているようです。季節の移り変わりを感じながら、子どもたちは元気に過ごしています。園庭では、お兄さんやお姉さんが水遊びをする姿を興味深く見て、水に触れてみたり、今まで芝生の上で遊んでいた子どもたちが、ハイハイで芝生を越えて、水道や築山の方へ移動したり。子どもたちは毎日色んなことに興味を持って、楽しんで遊んでいます。

～あじさいみつけた～

天気の良い日はバギーに乗って、散歩に出かけています。ある日、東三公園へ散歩に行きました。子どもたちの帽子を用意すると「これからお外に行くのかな？何かあるのかな」と小さいながらも興味津々な子どもたち。保育者に抱っこしてもらい、バギーに乗ってみんなで出発しました。

公園へ向かう途中に、綺麗に咲いたあじさいを見つけました。子どもたちは、自分たちの顔よりも大きなあじさいを見て、手を伸ばしたり、指先で花びらや葉っぱを触ったりしていました。また、薄い紫やピンク、白、青など様々な色のあじさいを見て、楽しむことが出来ました。

普段通る道も、ゆっくり観察していくことで楽しい発見がいっぱいあります。公園で遊ぶだけでなく、季節を感じられるお散歩も楽しいなと感じました。



～絵の具あそび～

先日、保育園で初めて絵の具遊びをしました。赤、青、黄色の絵の具を出した画用紙の前に、子ども達は保育者の膝の上に座って、いよいよ始まります。初めて見るものや慣れない環境に不安そうな表情を見せる子もいましたが、保育者や友だちが楽しそうに遊ぶ様子を見ることで、少しずつ興味を持ち“さわってみよう”“きもちいいな”と夢中になって触れる姿が見られています。

ある子どもは、とても絵の具に興味津々な様子で、すぐに絵の具に手を伸ばしては、指に絵の具がついて「何だろう？」と不思議そうに手についた絵の具を見ていたり、両手で絵の具を触って叩いたりしていました。絵の具に触れることが苦手な子どもは、手に触れなくてもいいようガーゼで作ったスタンプやジップロックを用意して、絵の具遊びを楽しみました。

子どもたちにとって初めての絵の具あそびは、かわいい作品になりそうです。



“担任の思い”

初めての絵の具遊びは、一人一人に合わせた誘い掛けを行っていくことで、楽しく遊びに向かうことができ、絵の具遊びへの興味が深まったように感じます。これからも子どもに寄り添いながら、様々な経験を増やしていきたいです。7月になり、園庭も少しずつ夏らしい雰囲気へと変わり始めています。園庭に出て水遊びや身体を沢山動かして遊んでいくとともに、夏ならではの自然に触れ、感触や発見と一緒に楽しんでいけたらと思います。

～ふたばぐみ～

ねらい：「生き物との触れ合いを楽しむ、思いきり水遊びなどの夏の遊びを楽しむ」

うた「おばけなんてないさ、とんでったばなな」 わらべうた「オフネガ、ココハトウチャン」

外で遊んでいると汗ばむ季節になりました。細目に水分補給をしながら遊んでいます。汗を流して身体を清潔に保ち、気持ちいいと感じられるようにその日の体調を診ながらシャワーも行っています。子どもたち同士の会話も少しずつ増えてきて、シャワーの時は自分のタオル紹介をし合っている時もあります。子どもたちの楽しい会話に耳を傾けながら、熱中症に気を付け水遊びや泡遊び等夏の遊びを楽しんでいきたいと思ひます。

“おしゃかな！”

ビオトープをのぞいてみるとメダカがたくさん泳いでいて、子どもたちは「おさかな！」と興味津々な様子です。保育室でも観察できるようにと、水槽に少し分けてもらいました。その日から、毎日水槽の中のメダカを観察しています。中には卵を持ったメダカもいて、「卵があるね。」と伝えると「たまご？」と不思議そうにしていました。卵の中からは赤ちゃんが生まれることを伝えると「あかちゃん！」と嬉しそうにしていました。その日から毎日「あかちゃんまだかな？」と保育者と一緒に観察し、メダカの赤ちゃんが生まれてくるのを楽しみにしています。6月の中旬を過ぎた頃、卵の中に小さな黒い点が見え、そこから数日後、心待ちにしていたメダカの赤ちゃんが生まれました。小さな小さなメダカの赤ちゃんを一生懸命目を凝らして見ている子どもたち。これから少しずつ成長していく姿と一緒に観察しお世話していきたいです。また、メダカだけでなく、色々な生き物に興味が出てきた子ども達。これからどんな生き物に興味が出てくるのでしょうか。お散歩に行った時や園庭で見つけた、たくさんの生き物に触れ合える環境を整えていきたいと思ひます。



“これなあに？”

かえで保育園の理事の柳沢さんからいただいたロメインレタスについていたカタツムリがふたば組に仲間入りしました。カタツムリを見たのが初めての子とももいたようで、「これなあに？」と保育者に尋ねていました。大ききの違う2匹のカタツムリのお家は、一緒に観察できるようにメダカの横に置いています。葉っぱの後ろや卵の殻の中に隠れている2匹を探すことが楽しいようで、「かたつむりさんみせて」と保育者に可愛くお願いに来てくれます。元気にケースの中をのびのび動かたつむりを見て「わあおおきくなって〜」と子どもたちも大喜び。ニンジンやキャベツなど、餌を入れ替える時は子ども達も釘付けです。「かたつむりさんどこ？」と子ども達。自分の力で見つける事が出来ると、子ども達も大喜び！「わあ！いた〜！」とお友だち同士で教え合っています。食べる物によってうんちの色が変わりそれを見るのも子どもたちの楽しみの一つになってきています。生き物との触れ合いをきっかけに子ども達のたくさんの発見を共有していきたいです。



“担任の思い”

徐々にダンゴムシやアリ以外にも興味が出てきた子ども達。よく積極的に触れに行く姿が見られます。園庭から室内に入室する時は必ず「かえるしゃん」と言って観察しています。ふたば組にやってきた2種類の生き物たち。餌を食べている様子を見ると「あむあむあむ」と食べる真似をしている子どももいます。メダカとカタツムリのお世話をきっかけに「どこ？」や「ここにいた！」など簡単な子ども達同士の会話も少しずつ増えてきています。これからも子どもたちの興味がある生き物に触れ合える環境を整えていながら、子ども達同士のやり取りに耳を傾け、子ども達のたくさんの発見を保護者の皆様と共有していきたいと思ひます。

～つぼみぐみ～

ねらい：「好きな遊びを見つけて、友達と一緒に遊ぶ」

うた：「シャボン玉」「ぞうさんのぼうし」「しりとりのおうた」

気温も高くなり、子どもたち念願の水遊びが始まりました。幼児クラスのお友だちがじゃぶじゃぶ池のポンプから水を出しているのをじっと見つめていました。他のクラスより少し早く園庭にでた日、ポンプに手をかけ、一生懸命に動かしながら水を出していました。保育者が伝えなくても、おにいさん、おねえさんや保育者のしていることをじっと根気よく観察しています。そんな子たちの様子を「じっと」見守っていきたいです。

～あめだ！～



大人にとって「雨降り」はうっとうしい…とマイナスに考えがちですが、子どもたちは雨がだいすきなようです。6月は、様々なものを通して雨を楽しみました。絵本やうたは勿論ですが、保育室にも雨を降らせてみました。天井に水色のスズランテープをかけ、雨に見立てて遊びました。雨の中をくぐってみたり、スズランテープを割いてみたり、手を伸ばして雨に触れたりみんな思い思いに楽しんでいます。お昼寝後に「雨」が降った日には、カーテンを開け、

窓から「雨」を眺めたり、ビニール袋で作った手作りのレインコートを着て、テラスで思いっきり「雨」を楽しみました。様々なものを通して「雨」に触れてきたつぼみ組。「お外、雨が降っているよ。」と声をかけると、「あめだ～！！」と目を輝かせ、「ぴちぴち ちゃぷちゃぷ らんらんらん♪」と嬉しそうに口ずさんでいました。雨の音や、外から聞こえてくる車の音、ご飯に匂い、葉っぱや泥の感触、小さなことに見えても、子どもたちにとっては大きな経験となります。これからもたくさんのものに触れ、笑ったり、驚いたり、心がきらっと輝く瞬間を大切にしていけたらと思います。



～おおきくなあれ～



キッズノートで日々成長をお伝えしている、きゅうり、なす、ひまわりの栽培活動。最近では子どもたちも植物の生長を気にしています。園庭にでる前にはプランターの傍に駆け寄り、大きくなったか確認しているようです。お花や実ができたときには、「せんせい！きゅうりがおおきくなっているよ！」「なすびの赤ちゃんができたの！」と保育者に教えてくれます。嬉しそうに伝えてきてくれたり、「大きくなってね。」と野菜たち

に話しかけたり、野菜やひまわりが壊れないよう、そっと優しく触っている姿を見ていると、野菜の成長とともに、子どもたちの心も温かく育っているのだと感じます。栽培活動を通じて、お世話をする楽しさや、面白さ、生き物の不思議に触れていきたいです。



“担任の思い”

お友だちと一緒に遊びたいという気持ちが芽生え、友だち関係が深まってきました。園庭でだんごむしやちょうちょを見つけると、お友だちや先生に「みてみて！」と嬉しそうに伝えてくれます。一人が発見した物や体験が、全体に伝わり、虫探しに繋がったり、図鑑と照らし合わせてみたり、様々な遊びに変化していきます。発見やひらめきを共に分かち合い、喜んだり、驚いたり、お友だちとたくさんの感動を経験しながら毎日過ごしています。自分の言葉で一生懸命伝えようとしている、一人ひとりの会話や気持ちを大切に受け止めて、会話を楽しんだり一緒にすごす時間を、大切にしたいと思います。

立田瑛怜菜 小寺涼香 近藤幸音

～いびきぐみ～

ねらい：「泥・水・泡など夏ならではの遊びを楽しむ」「友達の思いを知ろうとする」

うた：「たなばたさま」「にし」「かもめのすいへいさん」

ジメジメとした暑い日が続きましたがいよいよ夏がやってきます。もうすぐセミがくるよ！と子ども達は夏を心待ちにして日々を過ごしています。5月に植えたきゅうりとトマトも元気に育っています。きゅうりはあっという間にみんなの身長を追い越し、大きな葉と黄色の花を咲かせています。子ども達は、「みて～はっぱがはーとのかたち！」「なんではっぱふさふさしてるの？」と思い思いに話しかけてくれます。トマトにも小さな緑の実がなりました。「さわっちゃだめだよ！おちちゃうから！」「いっぱいおみずのむんだよ～」と大事に育ててくれている姿がなんとも可愛らしいです。



～積み木の大蔵海岸に憧れて～

ひかりとだいちのお兄さんお姉さんが大蔵海岸に遠足に行ってから、幼児の部屋では積み木を使った大蔵海岸作りが盛り上がっています。大蔵海岸ってなんだろう？から始まる子ども達。部屋には実際の大蔵海岸の写真が壁に貼られていて、海や岩があるところと認識しています。だいち組が作っていた“大蔵海岸”を「やってもいいよ！」と声を掛けてもらい、見よう見まねで一つ積み上げるとまた一つ積み木を手にして、憧れの大蔵海岸作りが始まりました。



今まではお兄さんお姉さん達で盛り上がっていて、見ていただけのことが多かった子ども達ですが、いざ遊び始めると夢中になって楽しんでいました。「こうやってのせていくんだよ」「つぎはこっち！」とみんなで協力して積み上げていき、途中からは椅子に乗りながら頑張っていました。突然ガラガラガラっと大きな音をたてて壊れてしまいました。せっかく頑張ったのに、、、と最初は残念そうな顔をしていた子ども達ですが、「もういっかいつくろう！」と誰か一人が言うと、「そうだね！」とみんな賛成し、再び一から大蔵海岸作りが始まりました。これからも色々なことにみんなで挑戦してほしいです。



～命の大切さ～

生き物が大好きな子ども達は園庭で虫探しを友達と楽しんでいます。カップいっぱい集めたダンゴムシを嬉しそうにみてみて～という子や、最近飼いはじめたトノサマガエルのみどりちゃんときいろちゃんのお世話に夢中になる子もいます。ある日お片付けの時間になると、たくさんのダンゴムシを捕まえた男の子が、せっかくいっぱい捕まえたのにどうしようと悩んでいました。その様子を見てみると、男の子は悩んだ末、花壇に「ばいば～い」と言いながら逃してあげていました。「ダンゴムシさんお家に帰してあげたんだね」と言うと「だんごむしにもかそくがいるからね～」と教えてくれました。虫にも命があり、虫の気持ちになって考えてみたからこそ出た答え(行動)だと感じました。その温かい心を大切に、これからの日々を過ごしてくれたらと思います。



“担任の思い”

幼児クラスになってあっという間に数か月が経ちました。子ども達は同じ部屋で過ごしているお兄さんお姉さんの遊びをよく見えています。その中でも子ども達の興味にヒットしたのが大蔵海岸作りでした。友達と協力して作った大蔵海岸を見てみて！と呼んでくれた子ども達の顔はとてうれしそうな表情でした。これからも異年齢クラスならではの刺激をたくさん受けて、心がときめく「やってみたいこと」をたくさん見つけていってほしいです。

小城 美紗

～ひかりぐみ～

ねらい：『友だちと一緒に夏のあそびを楽しむ』『保育者や友達と一緒に考えてみる』

うた：『にじ』『大きな古時計』

2階テラスでは毎朝、ピアノの音が聞こえてくると引き寄せられるようにピアノに集まります。私にとって今日1日が始まるとワクワクする瞬間でもあります。

『あなたはどんな人が好きですか』は全身を動かしながら友だちの肩をリズムに合わせてとんとん叩く振りつけは、子ども達の表情も自然と笑顔になります。歌詞にでてくる「明るい人」「素敵な人」「可愛い人」「元気な人」に合わせて様々な表情や振りつけを考えて、ができることもあります。『しゃぼん玉』の歌では、歌詞に出てくるしゃぼん玉の様子を実際に体験しながら「割れないように優しい声でね」と声の大きさや表情も変わります。子ども達が感じたままの表現を大切にしていきたいです。



“きらっと輝く瞬間”

園庭に出るとじゃぶじゃぶ池で水遊びや、パプリカや稲の観察、貝殻探しや鉄棒を楽しんでいます。「何してるの?」「一緒に行こう」と様々な遊びから“やってみたい”“これはなんだ?”とそれぞれのきらっと輝いた瞬間から遊びが始まります。春から続いている色水づくりでは、花や草から園庭で実ったヤマモモへ、水遊びが水路づくりなど遊びが広がっています。だいち組では逆上がりに挑戦する子、繰り返し練習し周れるようになった子の「やった! 1人で周れたよ!」の声に「〇〇くん逆上がりできたんだって、すごいね」「どうやったら逆上がりができるの?」「先生ちょっと手伝って」と憧れから隣の鉄棒と一緒に遊ぶ姿も。三つ編みづくりでは、初めて挑戦するいぶき組の子が色の組み合わせを変えながら「赤…次は白だったかな?」と順番を呟く子の様子を見て「次に真ん中にくるのは…黄色かな」と同じ気持ちになって考える姿も見られます。年齢が違うからこそ、新しい遊び方を発見したり、方法を知る機会になったり共有したりすることができ一緒に遊ぶことの楽しさも感じているようです。それぞれのやってみたいがたくさん積み重ねることができるように、今月も季節を感じられる遊びをおもいっきり楽しみながら子ども同士の関わりを見守っていきます。



“担任の思い”

不思議を見つけたり、遊びを考えたり、気づきを全力で楽しむ子どもたちは、あそびを見つける名人です。泥団子に使うさら砂はどの場所がいいか、どの花や葉っぱの色が色水で出やすいか、毎日たくさんの発見を教えてください。これまで保育園で過ごして経験したことが、自然と子どもたちの中で引き継がれているような気がして嬉しく感じる瞬間でもあります。子どもたちの中で不思議を話し合う姿もよく見られます。友だちの話を聞いて「そうゆうことか」と納得することもあれば、気持ちが行き違いになり「先生どうしよう」と尋ねに来る子もいます。保育者も一緒にどうしたらいいかなと考えますが、「声掛けてきてあげたらいいかな」「こうしたほうがいいと思うんだ」と自分なりの考えを言葉や行動で伝えようとする場面も見られるようになってきました。思いが伝わりづらいときは、次にどうしたいかを一緒に考える時間を大切にしています。少しずつ気持ちが通じあい、楽しい発見と一緒に楽しみ、困った時は一緒に考えて、周りへの気づきも大切に思いやりの心が広がってほしいです。

～だいちぐみ～

ねらい：「夏の遊びを工夫して楽しむ」「自分の持ち物を大切に扱う」

うた：「きっとできる」「にじ」「ぱんのマーチ」

梅雨が明け本格的に夏が始まり、水あそびが楽しい季節になってきました。じゃぶじゃぶ池で全身びしょ濡れになってダイナミックに遊んだり、ヤマモモや花・葉を使って色水をしたりと冷たさや色の変化などを楽しんでいます。友達と一緒に遊ぶ事を楽しみながらも時々けんかになる事もあります。その時に自分の思いや相手の気持ちに気付き寄り添うこと、何かあれば「どうしたの、だいじょうぶ？」と自然と声を掛けられる子ども達に心が温まります。その子ども達の気持ちを大切にしながら保育を進めていきたいと思えます。

～頂上まで登れるかな～

だいち組のお出かけ第3弾は甲山になりました。梅雨の時期ということもあり、甲山と森林公園どちらにいくのかギリギリまで悩みましたが、甲山の頂上を目指すことにしました。4月の頃から「甲山の頂上に登ってみたい」という気持ちは子ども達の中にありましたが、いざ甲山に登ることに決まると「登れるかな」と少し不安そうな子どももいました。甲山はどんな場所なのか、卒園しただいち組が甲山に行った時の写真や動画を見たり、頂上に着いたら何をしたいのか話している間に「楽しみになってきた！」と目を輝かせていました。前回のお出かけの計画を思い出し、行き方・ちず・持ち物チームの3チームに分かれよう！と子ども達からでてきました。「雨が降るかもしれないからレインコートはいるよね」「ご飯の時にテントがいるんじゃない」など今までのお出かけの経験や甲山でのお出かけをイメージして考えました。前日には捨った物を入れられる鞆を作り準備バッチリです。

当日、園を出発しバスに乗って甲山へ向かいました。バス停「北山貯水池」に着くとすぐそばに甲山があり「今からこの山を登るのか～」と見上げ、ワクワクしながら山道を登り始めました。前日に雨が降っていたので階段や石、泥で滑らないように一歩一歩慎重に歩いていました。

頂上に着くと広場があり、頑張って登ったのでもうお腹がぺこぺこ。円になりみんなで顔を見ながら楽しみにしていたおにぎりタイムです。リュックの中はたくさん荷物でパンパンだったため、おにぎりの形が少しつぶれている子どももいましたが、「つぶれてる～」とそれもなんだか嬉しそうな子どもたちでした。



頂上には大きな木があり、全員木登りに挑戦しました。少し怖いと感じる子どももいましたが、友達が挑戦している姿を見て勇気を振り絞り挑戦していました。木に登った後怖くて泣いてしまった子どももいましたが、その後「もういっかいのぼりたい」と自ら挑戦する姿があり、子どもの勇士に驚かされました。子どもたちが1番楽しみにしていたおやつタイムです。「せーの」とみんなで見せ合いをしました。「おなじだ」「それもおいしいよね」と楽しそうに話をしながら食べました。帰る頃には自分でつくった鞆の中にはヤマモモや葉っぱなどたくさん入っていました。帰り道には綺麗に咲いているアジサイ



を見たり、遠くに見える街に向かって「やっほー」と大きな声を出したりと最後まで楽しんでいました。甲山に向かって「また来るからね～」と約束もしました。バスの中では楽しかったねと話をしていましたが、気付くと疲れて眠る子ども達。夕方には「楽しかったね、次はどこに行こうか」とお出かけ計画はまだまだ続きます。



“担任の思い”

園外保育を経験するたびに発見した喜びや不思議を分かち合ったり、それぞれが感じたことを話す中で、それぞれに思いがあって、いいところがあることに気づくきっかけになってほしいと思えます。また、果物の種や生き物など興味をもったことに対して探求しようとする姿が多くなり、自ら調べたり保育者と一緒に考えたりする中で、純粋で無邪気な子ども心を大切に見守っていきたいと思えます。

松岡 桃花

～ボールだったら他にもあるよ！～

「このボール使いたかった！」「わたしも青いボール使いたいの。」同じボールを使いたくて困っているいぶき組の友達のところにとさっと近くにいたひかり組の友達がやって来ました。「ボールだったら他にもあるよ！」「赤いボールもあるし、このボールだったらどう？」と2人に提案しました。しかし、2人が使いたいボールは同じ物でした。ひかり組の友達はその状況を感じつつ、どこかにお互いが納得するところはないかと何度も提案していました。「2人で一緒に使ったらどうかな？」すると、青いボールを引っ張りあっていた2人の手の力が弱くなりました。自分たちの困っている状況を一緒に考えてくれていると感じたのかもしれない。「一緒に使うのは違う。」いぶき組の友達は自分の思いを話していました。ひかり組の友達は、さらに他の提案はないかと園庭にあるボールひとつずつ「このボールは？」と聞きました。いくつも聞くうちに、いぶき組の友達の気持ちに変化が見られ、1人は他の遊びを探しにその場から離れていきました。落ち着いて考えた時に、他の遊びもやってみたいと思ったのかもしれない。



～綱引きしよう～

ある日、綱引きをやりたいと2階のテラスで綱引きが始まりました。集まったのはひかり組、だいち組の13人の友達です。同じ人数に分かれるのは難しいため、6人と7人の異年齢のチームに分かれ、1回戦が始まりました。結果は、1人多い7人チームの勝ちでした。勝って友達と喜ぶ姿、負けて悔しさが見られる姿があったのは少しの時間、すぐに「もう一回違うチームでしたい！」と2回戦のチーム分けをみんなで考えました。「ひかり、だいちのチームだったら数が違っていても、だいちは力強いから大丈夫だよ。」と人数の差があることを分かったうえで、クラス対抗で2回戦が始まりました。「ひかりさんには、負けないからね。」と意気込みが十分のだいち組の友達です。しかし、人数が多いひかり組の友達も力を合わせて綱を引き、ひかり組が勝ちました。人数が違うチームで綱引きをすることは、学年の違いはあっても難しかったことを2回戦目を感じただいち組の友達でした。「次は、負けないからね！」異年齢チームもクラス対抗チームも盛り上がった綱引き遊びでした。



“担任の思い”

友達との思いがぶつかった時や使いたい玩具が一緒に困っている時に、当事者同士だけでは少し気持ちを落ち着くことが難しいことがあります。そんな時に、お互いの話を聞いて一緒に困っていることを考える友達や、少し離れたところで様子を見て、後からそっと泣いている友達に寄り添う友達など異年齢の関わりが見られます。

いぶき組の2人のボールに対する終着点は、ひかり組の友達が提案した別のボールを使うこと、一緒に使って遊ぶものではありませんでした。しかし、2人では言い合い、ボールの引っ張り合いだった状況が、仲に入ってどうしたいか聴き続けてくれたことで、2人にとって気持ちが落ち着き和らいだのだと思います。友達を思う心の温かさ、これからも広がってほしいです。

先生のメッセージ

みなさんにとって心に残っているお気に入りの絵本はありますか？私は有名な絵本作家の林明子さんが描く「きょうはなんのひ？」という絵本が大好きです。幼い頃、母によく寝る前に読んでもらってこの本が大好きになりました。

この物語は主人公の女の子が家のありとあらゆる場所に手紙を隠し、お母さんがその手紙を探していくお話なのですが、手紙の頭文字を繋げていくとあるメッセージになるという幼少期ならではの好奇心がくすぐられる素敵な一冊です。私も主人公の女の子のようなことをよくして楽しみました。

お母さんや家族、特別な人に呼んでもらった絵本はいつまでも記憶に温かく残るものだと思っています。保育の中でも絵本の読みきかせはとても大事な時間としてたくさんの本を読んであげたいと思っています。

昔読んでもらったうれしい時間の記憶を思い出しながら子どもたちに読んであげている時間は私にとってうれしい時間でもあります。

みなさんもぜひ、お時間があればお子様とたくさんのお絵本を一緒に読んでみてください。お子様にとっての心に残る絵本が見つかるきっかけになるかもしれません。又、お子様がお家ではどんな絵本に興味があるのかなど教えていただけたら嬉しいです。



小城美紗

保護者の方からのお話コーナー

「今日、逆上がりできたよ！」とうれしそうに報告してくれました。

お友だちと園で毎日練習をして頑張っていることも聞いていたので、私も本当にうれしかったです。

だいち組 ゆきさん

「月曜日は4さい誕生日！」と楽しみにしていた4さいになりました。

最近では口癖で「4歳だから、お片付けする！お野菜食べれる！」など娘の中で4歳では何でもできるお姉さんのイメージがあるそうです。

これからも成長が楽しみです。

いぶき組 まりさん

いつもうたを歌ってくれたり、自分で歌いながら体操を見せてくれたりと、園でやっている事を家で披露してくれます。

毎日保育園に行く事を楽しみにしていて、保育園・先生・友だちが大好きなんだと日々実感しています。おてんばですが、これからもよろしくお願いします！

つぼみ組 あやねさん

4月に入園してから、周りのお友だちから沢山の刺激をもらい、できることも増えてきました。こんなことも出来るの？いつの間に？と成長の早さにビックリです。

これからも保育園生活を楽しんで過ごし、色々な表情を見ていきたいなと思います。

めばえ組 ともみさん

先生に“お約束”を教えてもらってから息子の得意技になっています。

欲しいもの、見たいテレビ、何でも先に“お約束よ！”と言いながら、人差し指を立てます（小指と間違っています）。

大人が言うことを、素直に真似する姿に可愛さと少しのあざとさを感じずにはいられません。これからは、自分でも“約束”をしたら守らなくてはいけない事を、教えていきたいと思います。

ひかり組 ゆうこさん

入園して2ヶ月ほど経ちました。

たくさん泣いても、子ども同士、お母さんじゃない先生たちの間の時間は、とっても刺激でとっても大事な時間だと思います。

まだ、朝は泣く日もあるけど迎えに行くと必ず笑顔で出てきます。お友達、先生たちの時間が楽しいからだと思います。娘にも、お友達・先生たちを笑顔に出来る子になってほしいです。

ふたば組 あやかさん

☆お台所より☆

あっという間の梅雨明けの知らせ、暑さも日々増していく中で本格的な夏の季節がすぐそこまで来ているようです。本格的な暑さに備えてしっかりと栄養と睡眠をとって体力を蓄えましょう！

7月も子どもたちが元気いっぱい過ごせるように衛生管理に気をつけながら、おいしい給食を作りたいと思います。

～食育活動～

<6月3日>



6月も子どもたちにえんどう豆の豆だしをしてもらいました。「ぼくもやりたい!」、「どうやってむいたらいいの?」とみんな集中しながら一つ一つ一生懸命に豆だしをしてくれました。そしてその取ってもらったお豆を使ってお昼に豆ごはんを作りました。「おいしい!」とおかわりしてくれる子もたくさんいて、「また豆出したい!」、「次はいつするの?」と興味を持ってくれた様子でとってもうれしかったです。



<6月7日>



子どもたちが庭で育てているえんどう豆を収穫してきて、しっかりと洗って豆ごはんとして小さいおにぎりサイズにしていち組のみんなで食べました。自分たちで収穫して作った豆ごはんは格別!「いつもの豆ごはんとは違う気がするよ!」と少しずつ豆の味を感じながら味わって食べている様子でした。5月に引き続き、何度か行った豆だしをきっかけにみんな豆に興味を持ち、「豆が落ちてたよ!」「これも豆ごはんに使える?」と報告してくれる子がたくさん増え、旬の食材に触れるいい機会になってうれしい報告です。



<6月21日>

園長先生が買ってくださったきゅうりが星形とハート型で今日のサラダに添えてくださいと厨房に持ってきてくださいました!お誕生日のメニューにすごくぴったりでサラダがとっても華やかになりました。子どもたちも「ハート形だったよ!」、「星形だったよ!」とみんな嬉しそうに報告してくれる子がたくさんでした。いぶき組も同じ形のきゅうり作りに挑戦するようです!



～7月の旬の食材～

夏野菜がおいしい時期がやってきました。7月の旬の食材はなす・トマト・ピーマン・とうもろこし・きゅうり・スイカ・ゴーヤなどがあります。献立では「豚肉となすの炒め物」や「ゴーヤチャンプルー」、トウモロコシも登場します。玉ねぎやトウモロコシの皮むきなどの食育活動も積極的に行い食にたくさん触れる機会をたくさん作っていきたいと思います。

7月もおたのしみに!

栄養士 廣田 恵・信田 まなみ



健診の予定

- 眼科 7月13日(水) 全園児
幼児クラスのみ園内で視力検査実施
年間1回

園内研修について

6月より月1回職員園内研修を18:00~20:30まで行います。お迎えの際、延長保育を事務所内で行いますのでご了承ください。

次回は7月28日(木)の予定です。

だいちのみ

短期間ですが経験としてプール遊びをします。他のクラスは例年通りの水遊びです。



6月18日(土)に同園会を行い、77名の卒園生(1年生~6年生)が参加してくれました。懐かしい園庭で、保育園での思い出を話しながら泥団子を作ったり、色鮮やかなお花を植えてくれました。今夢中になっていること、沢山の話を聞かせてくれ、とても温かい時間となりました。



泥団子づくり



お花植え



貝殻の絵馬



- 日差しがきつくなってきました。園庭ではテントを張り、紫外線対策を行いながら夏の遊びを進めていきます。子どもたちにとっては待ちに待った夏の遊び。水・泥んこあそびで毎日たっぷり遊んでいきます。体調管理・着替えの補充をよろしくをお願いします。

- 感染症での休園・クラス閉鎖について
4月より園児に感染症が出た場合、クラスまたは、フロアごとでクラス閉鎖となります。クラス閉鎖になった場合やご家族で陽性の方がいらした場合は家庭保育で保育料(乳児クラスのみ)の返還はありますが該当クラス以外のお休みは保育料の返還はありません。ご了承ください。

- 園の前は駐停車禁止です。通行の妨げになるとともに園児の飛びだし等大変危険です。また、駐車場利用は短時間をお願いします。



7月の予定

- * 1日(金) かえでカフェ
- * 6日(水) 七夕まつり
- * 11日(月) 月例健診
- * 12日(火) 子育て支援(アート)
- * 13日(水) 眼科健診 12:30~
- * 19日(火) 誕生会

- * 7・14・21・28日(木) 体操
- * 8・27日(金・水) 絵画

8月の予定

- * 10~17日 夏季保育
1号認定の方は夏休みがあります。

- 職員も公休を取ります。可能な方はできる限り家庭保育にご協力下さい
- 保育希望調査票の手紙を配布しますのでご提出ください